

株式会社ニレコ(6863) 2018年3月期 決算説明資料

2018年6月1日

業績推移



実績及び計画
総括

	17/3期	18/3期	19/3期計画
受注高	7,584百万円 (16/3期比+0%)	8,695百万円 (17/3期比+15%)	8,800百万円 (18/3期比+1%)
売上高	7,401百万円 (16/3期比▲1%)	7,911百万円 (17/3期比+7%)	8,600百万円 (18/3期比+9%)
営業利益	537百万円 (16/3期比▲17%)	705百万円 (17/3期比+31%)	810百万円 (18/3期比+15%)

重点テーマ

市場の拡大

技術の進化

+

株主還元

いかなる環境下においても成長できる体制の実現

18/3期の取組み

事業基盤の拡大強化

競争優位性の向上

- プロセス韓国市場の開拓(メカトロ事業の開始)
- 加工食品関連向け検査事業の開拓
- 新事業分野への検査装置の開発
- 年間配当金24円を決定(17/3期比+4円)

安定配当の維持を基本に配当性向35%を目標に実施

1. 前期実績
2. 今期計画
3. 持続的成長に向けて

1. 前期実績 (2017/4 – 2018/3)

前期実績

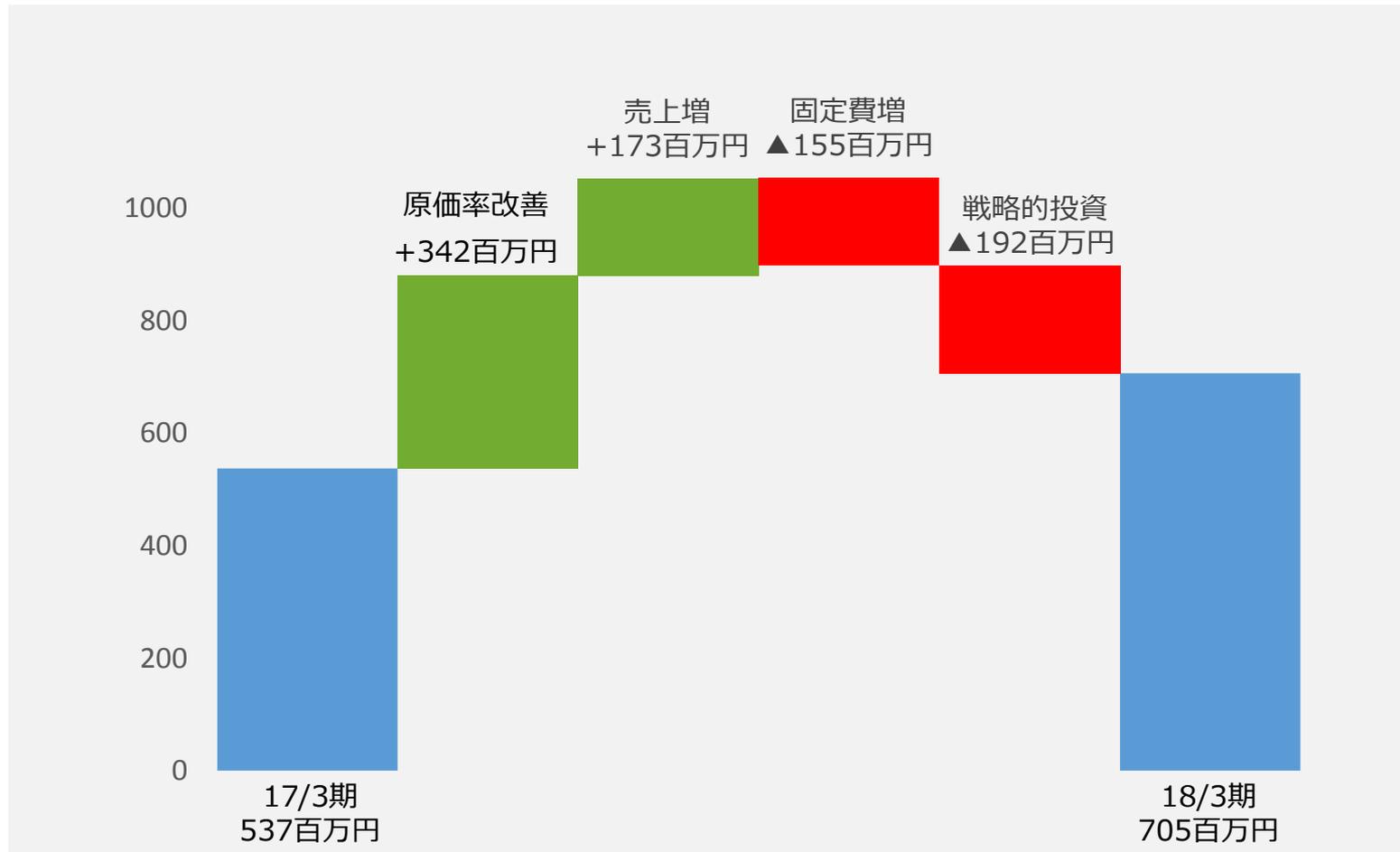
➤ 受注高、売上高ともに前期比増、営業利益は前期比30%超の増益

(単位：百万円)

	17/3期	18/3期		増減率	
	実績	計画	実績	前期比	計画比
受注高	7,584	8,200	8,695	+15%	+6%
売上高	7,401	8,000	7,911	+7%	▲1%
営業利益	537	620	705	+31%	+14%
営業利益率	7.3%	7.8%	8.9%	-	-
経常利益	572	720	784	+37%	+9%
経常利益率	7.7%	9.0%	9.9%	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	368	500	516	+40%	+3%
当期純利益率	5.0%	6.3%	6.5%	-	-
1株当たり当期純利益(円)	50.39	67.94	69.79	+38%	+3%
受注残高	2,157	2,357	2,941	+36%	+25%

営業利益増減要因

前期比



プロセス事業

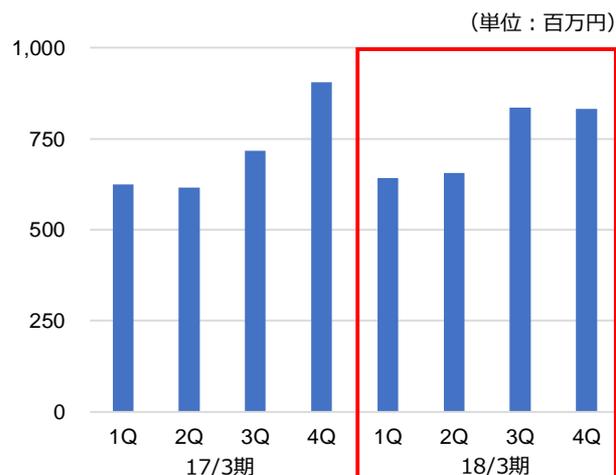
➢ 受注高・売上高・利益ともに前期比増

➢ 海外売上高の増加

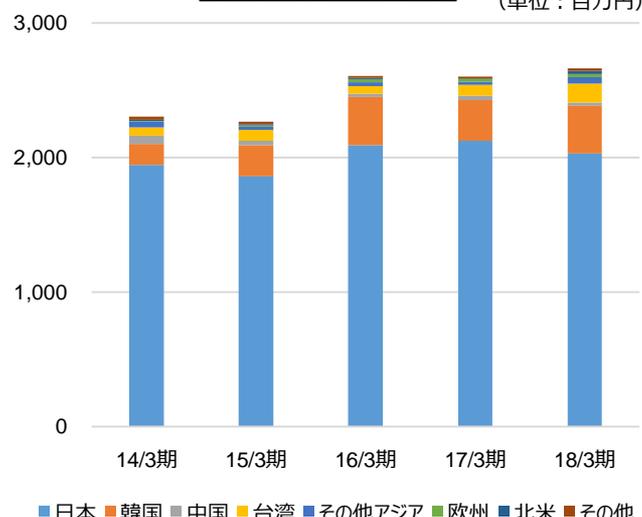
(単位：百万円)

	17/3期	18/3期		増減率	
	実績	計画	実績	前期比	計画比
受注高	2,862	2,860	2,964	+4%	+4%
売上高	2,606	2,720	2,663	+2%	▲2%
セグメント利益	434	530	539	+24%	+2%
セグメント利益率	16.7%	19.5%	20.3%	-	-
受注残高	1,167	1,307	1,468	+26%	+12%

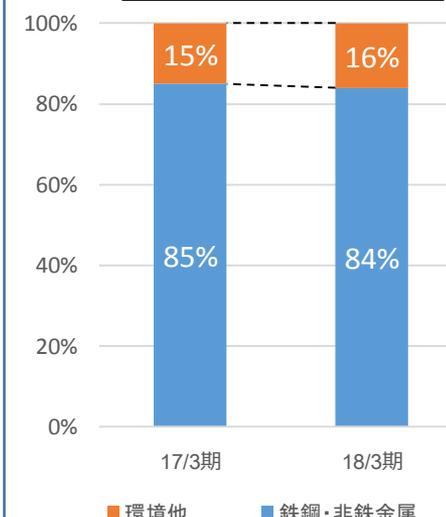
受注高推移



地域別売上高推移



業種別売上構成比推移



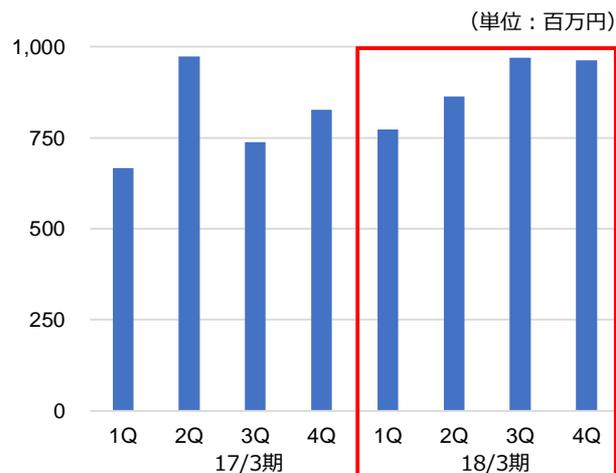
ウェブ事業

- 受注高・売上高・利益ともに前期比増
- 生産体制改善・コストダウンにより利益大幅増

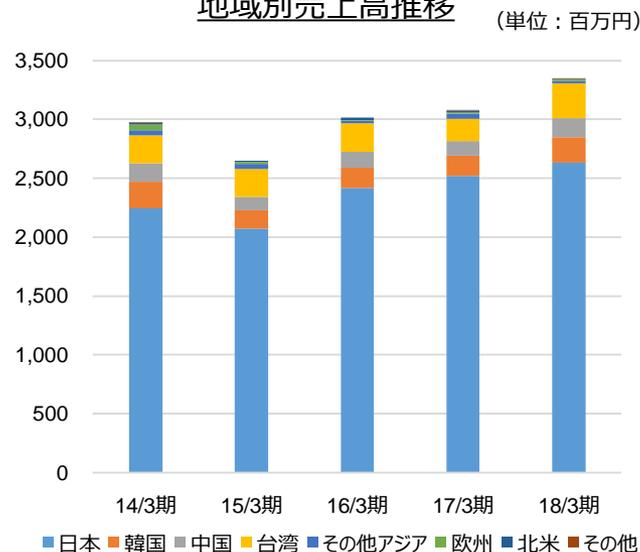
(単位：百万円)

	17/3期		18/3期		増減率	
	実績	計画	実績	計画	前期比	計画比
受注高	3,204	3,200	3,593		+12%	+12%
売上高	3,077	3,080	3,354		+9%	+9%
セグメント利益	562	540	786		+40%	+46%
セグメント利益率	18.3%	17.5%	23.4%		-	-
受注残高	595	715	834		+40%	+17%

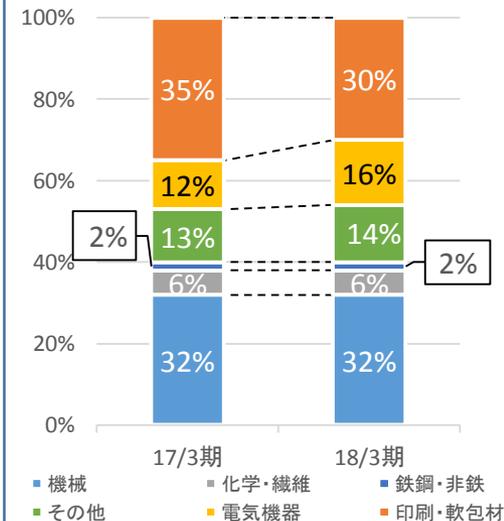
受注高推移



地域別売上高推移



業種別売上構成比推移



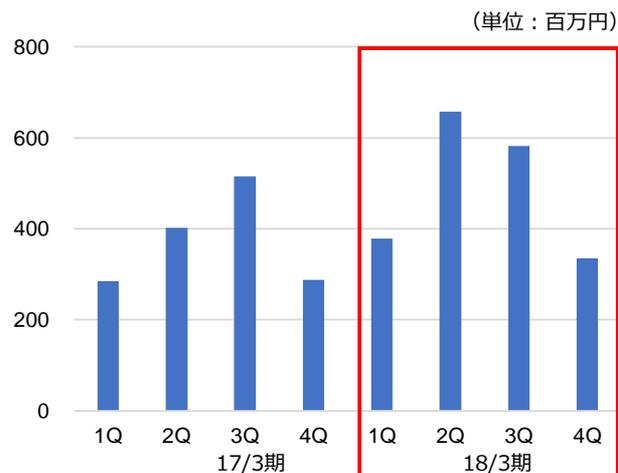
検査機事業

- 売上高横ばいも、受注残高は大幅増
- 食品市場の開拓

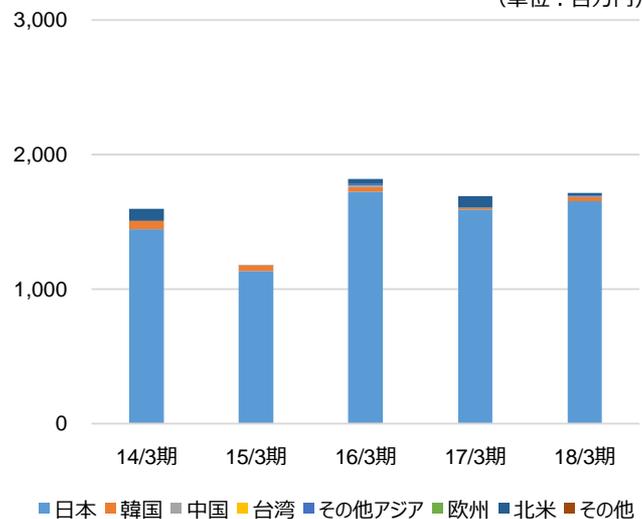
(単位：百万円)

	17/3期		18/3期		増減率	
	実績	計画	実績	計画	前期比	計画比
受注高	1,488	1,900	1,952		+31%	+3%
売上高	1,691	1,920	1,714		+1%	▲11%
セグメント利益	63	130	156		+248%	+20%
セグメント利益率	3.7%	6.8%	9.1%		-	-
受注残高	391	371	629		+61%	+70%

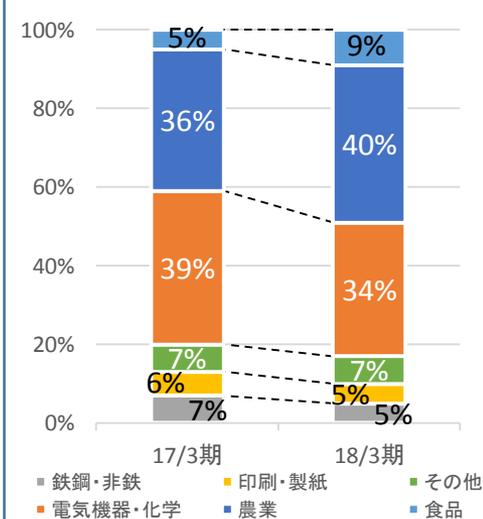
受注高推移



地域別売上高推移



業種別売上構成比推移



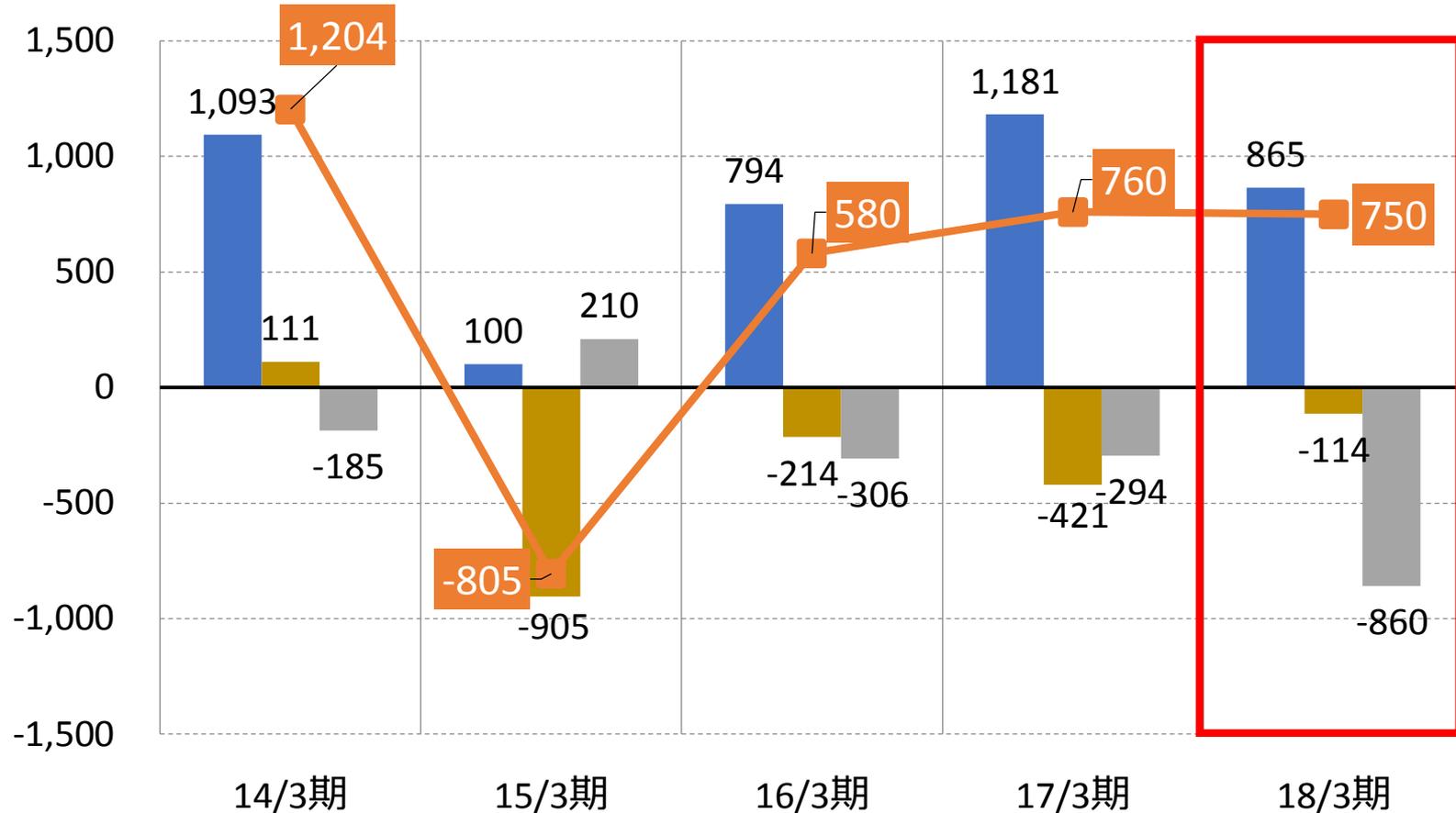
貸借対照表

(単位：百万円)

	17/3期		18/3期		前期末比 増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
現金・預金	5,130	36.3%	5,180	36.1%	+ 50
売上債権	3,007	21.3%	3,066	21.4%	+ 59
有価証券	14	0.1%	0	0.0%	▲ 14
棚卸資産	1,572	11.1%	1,626	11.3%	+ 54
その他流動資産	264	1.9%	278	1.9%	+ 14
流動資産	9,989	70.7%	10,151	70.7%	+ 162
有形固定資産	2,153	15.2%	2,002	13.9%	▲ 151
無形固定資産	459	3.3%	372	2.6%	▲ 87
投資その他資産	1,524	10.8%	1,833	12.8%	+ 309
固定資産	4,137	29.3%	4,207	29.3%	+ 70
資産合計	14,127	100.0%	14,359	100.0%	+ 232
買入債務	325	2.3%	405	2.8%	+ 80
その他流動負債	1,304	9.2%	1,066	7.4%	▲ 237
流動負債	1,629	11.5%	1,471	10.3%	▲ 157
固定負債	681	4.8%	290	2.0%	▲ 390
負債合計	2,310	16.4%	1,762	12.3%	▲ 547
純資産合計	11,817	83.6%	12,597	87.7%	+ 779
負債・純資産合計	14,127	100.0%	14,359	100.0%	+ 232

キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)



- 営業活動によるキャッシュ・フロー
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
- フリー・キャッシュ・フロー※

※フリー・キャッシュ・フロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー + 投資活動によるキャッシュ・フロー

2. 今期計画 (2018/4 – 2019/3)

今期計画

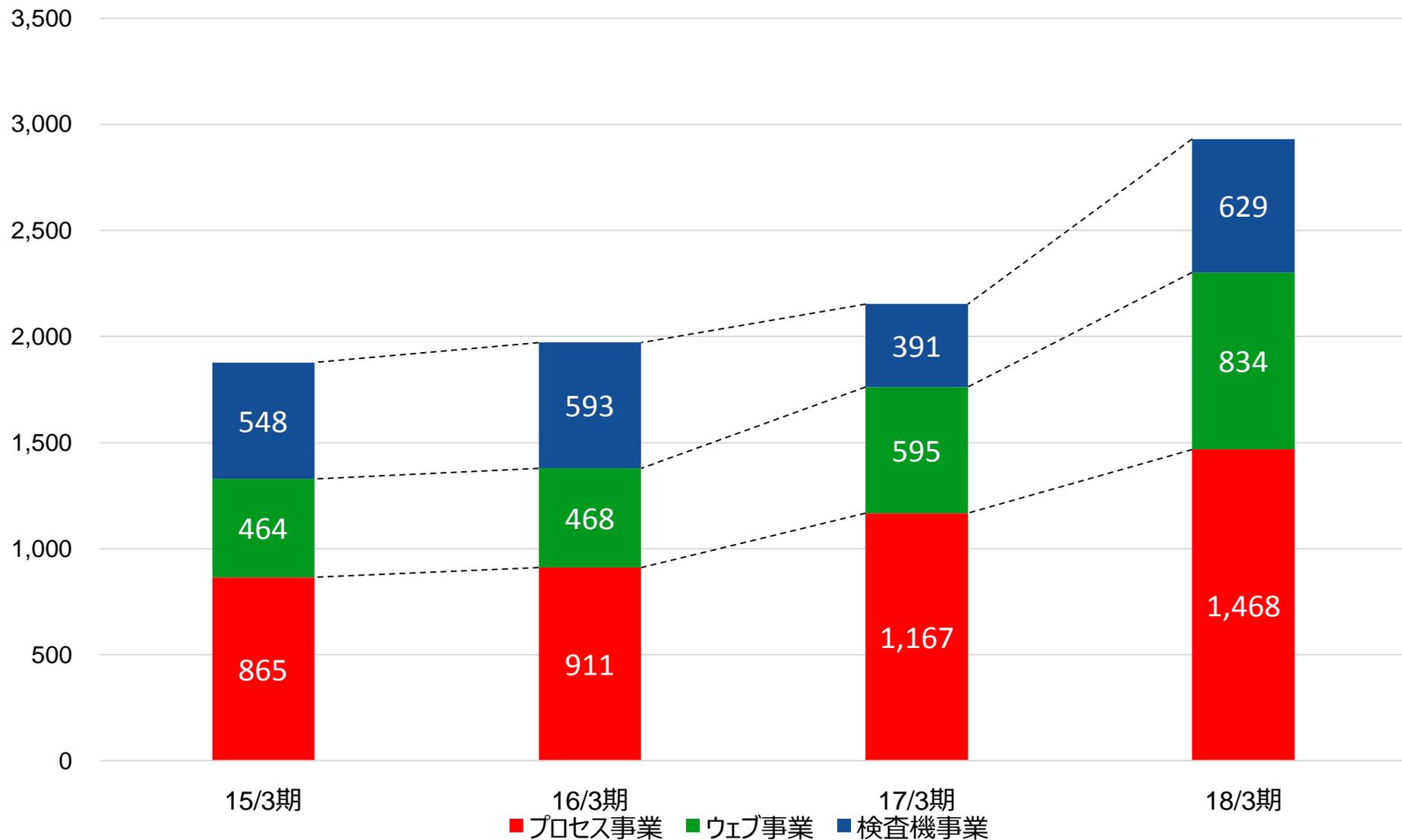
- 受注残高は高水準
- 経常利益率は10%へ

(単位：百万円)

	18/3期 実績	19/3期 計画	増減率 実績比
受注高	8,695	8,800	+1%
売上高	7,911	8,600	+9%
営業利益	705	810	+15%
営業利益率(%)	8.9%	9.4%	
経常利益	784	860	+10%
経常利益率(%)	9.9%	10.0%	
親会社株主に帰属する当期純利益	516	560	+8%
当期純利益率(%)	6.5%	6.5%	
1株当たり当期純利益(円)	69.79	75.51	+8%
受注残高	2,941	3,141	+7%

受注残高状況推移

(単位：百万円)



対象市場の状況と施策：プロセス事業

国内鉄鋼市場

- 競争力強化のための設備投資に注力



- 引き続き品質・生産性向上に資する製品の販売に注力
- 新製品の開発に注力

海外鉄鋼市場

- 中国での生産能力調整が進み設備投資需要回復

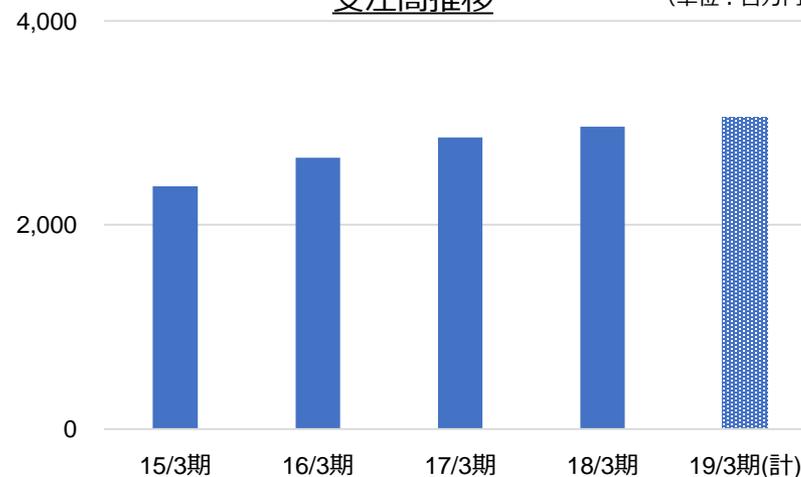


- 海外子会社・現地代理店を活用し北米・中国・韓国を中心に販売拡大に注力
- 海外向け製品開発に注力

	18/3期 実績	19/3期 計画
受注高	2,964	3,050
売上高	2,663	3,000
セグメント利益	539	600
セグメント利益率	20.3%	20.0%

受注高推移

(単位：百万円)



対象市場の状況と施策：ウェブ事業

国内市場

- 二次電池、電子部品向けを中心に引き続き高い水準で安定



- 生産体制を強化し需要拡大に対応

海外市場

- 国内同様二次電池、電子部品向けは高い水準で安定
- 印刷市場は東アジアを中心に需要継続

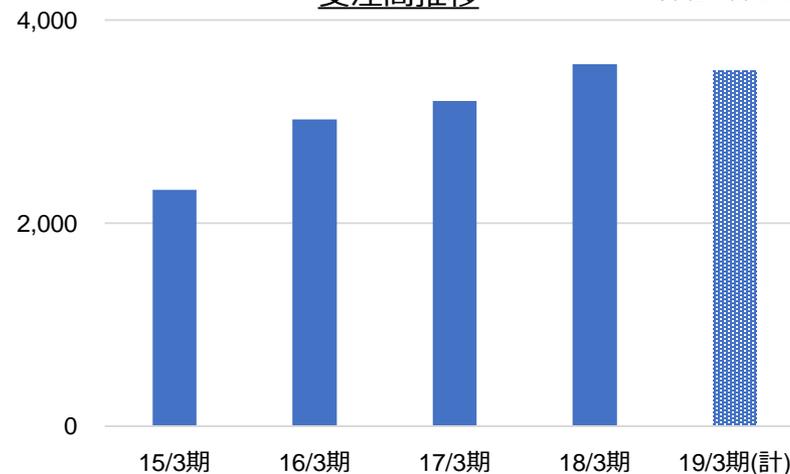


- 海外子会社を活用し台湾・中国を中心に販売強化

	18/3期 実績	19/3期 計画
受注高	3,593	3,500
売上高	3,354	3,400
セグメント利益	786	800
セグメント利益率	23.4%	23.5%

受注高推移

(単位：百万円)



対象市場の状況と施策：検査機事業

高機能フィルム市場

- 二次電池、電子部品を中心に堅調な設備投資
 - ニーズの多様化
- ↓
- 幅広い市場の要求に対する対応力、提案力の強化
 - 次世代向け検査装置の開発を継続

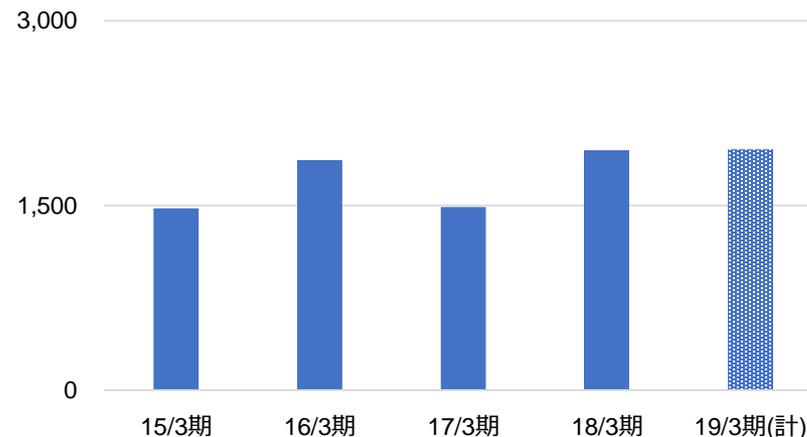
食品市場

- 選果装置の更新需要は堅調
 - 個食化、食の安全意識の高まりにより加工食品検査需要は旺盛
- ↓
- 選果装置の更新需要獲得
 - 加工食品検査の潜在需要掘りおこし

	18/3期 実績	19/3期 計画
受注高	1,952	1,950
売上高	1,714	1,900
セグメント利益	156	160
セグメント利益率	9.1%	8.4%

受注高推移

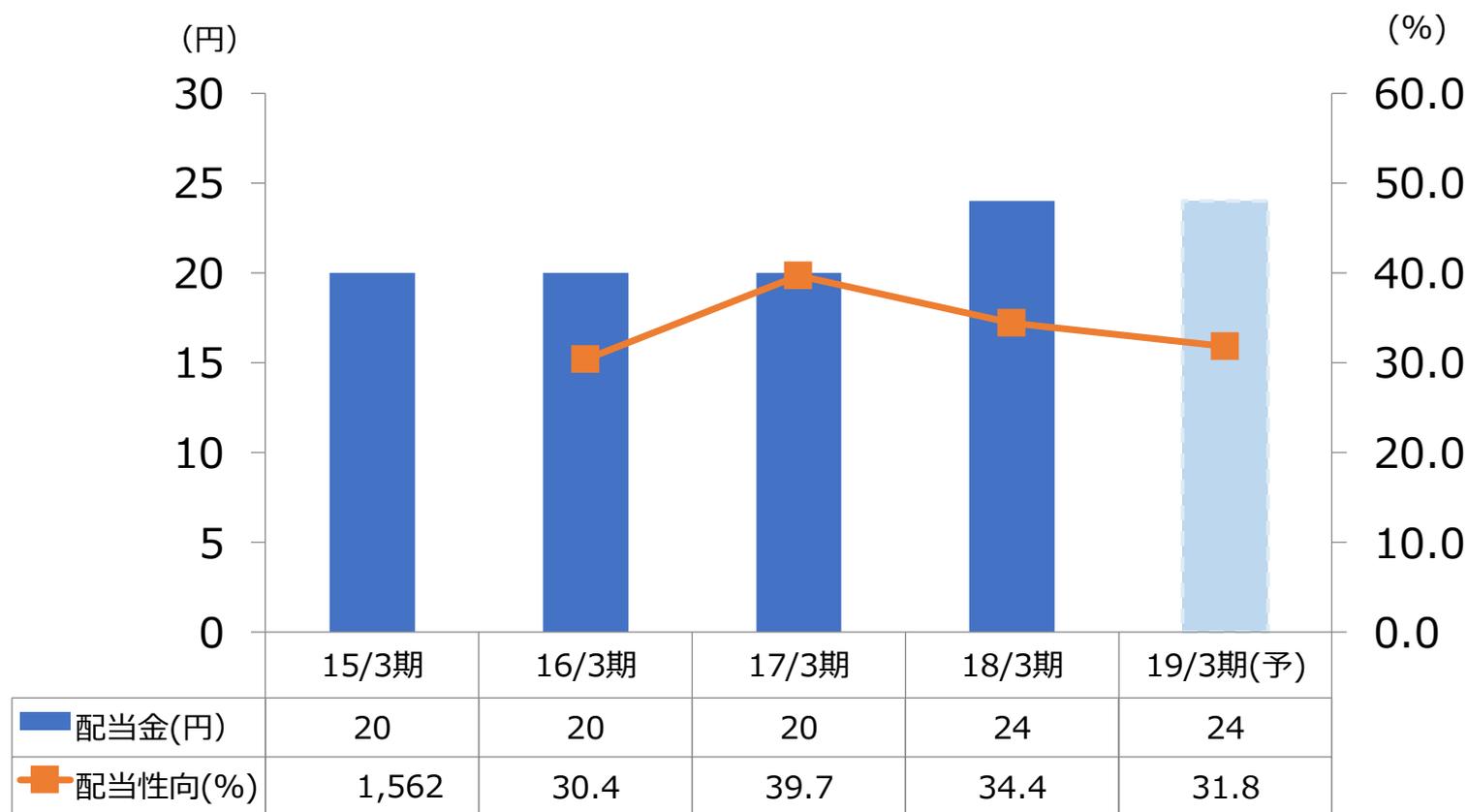
(単位：百万円)



株主還元について

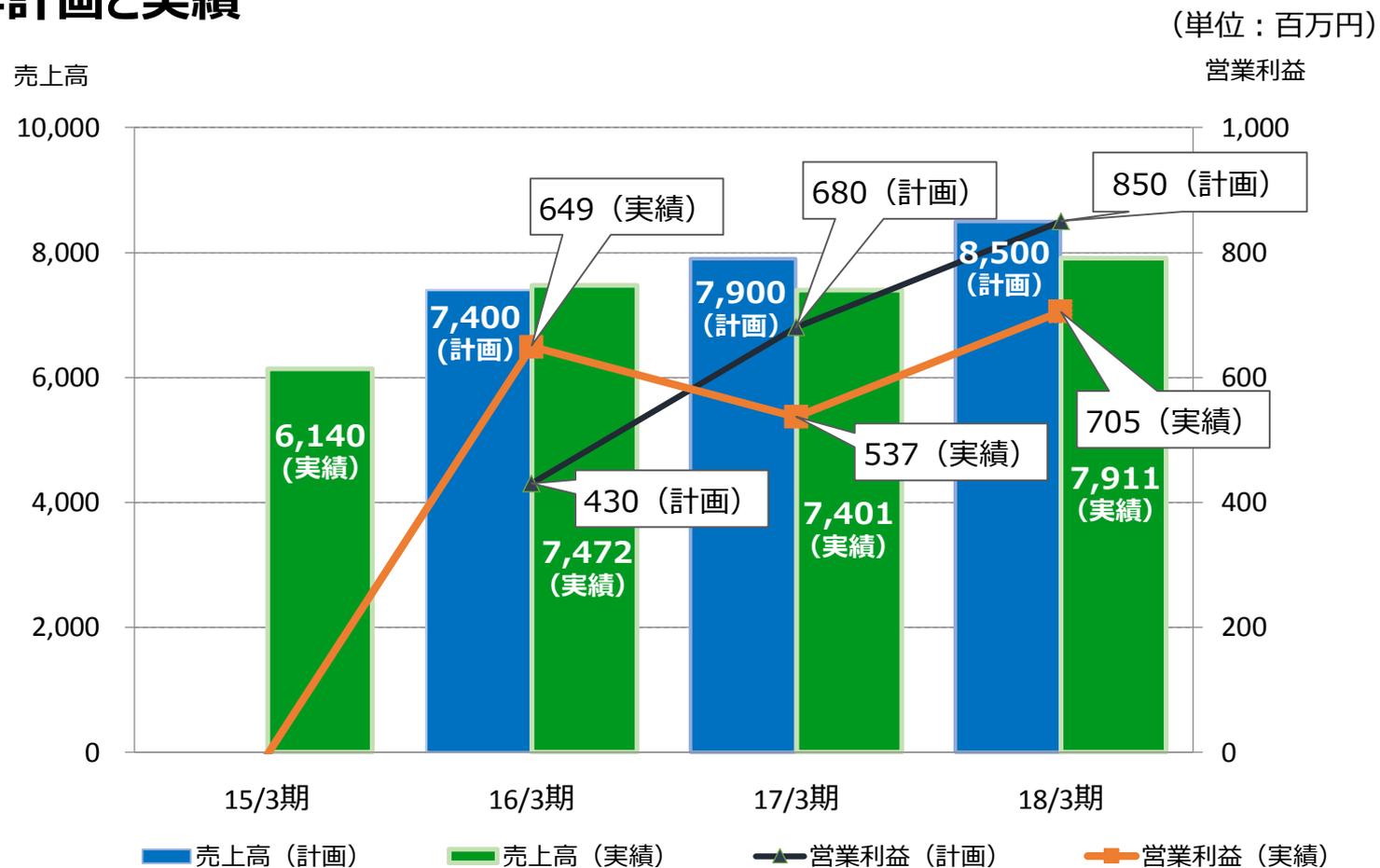
基本方針 安定配当の維持を基本に連結配当性向35%を目標と定め、その実現を目指す

➤ 18/3期年間配当金は1株当たり24円（配当性向34.4%）



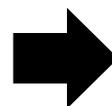
3. 持続的成長に向けて

前3カ年計画と実績



【前3カ年計画基本方針】

- ・ いかなる環境の変化にも対応でき、持続的に成長できる強い経営基盤の構築



【実績】

- ・ 各セグメント共に計画未達も最終年度で増収増益を達成
バランス良く収益生む体質に改善

現状の課題

市場環境の変化

- ✓ 国内市場は回復も人口減による需要先細りの懸念
- ✓ 海外景気の拡大
- ✓ グローバル市場における保護主義の台頭

当社の課題

- ✓ 海外拠点整備とグループ経営の強化
- ✓ 製品開発のスピードアップ
- ✓ 成長市場の開拓

課題を克服し更なる成長軌道に乗せる

めざす姿

【基本理念】

「技術と信頼」

コア技術を活かした製品ときめ細かいサービスの提供により、ユーザーから厚い信頼を獲得し、よきパートナーとして共に成長する

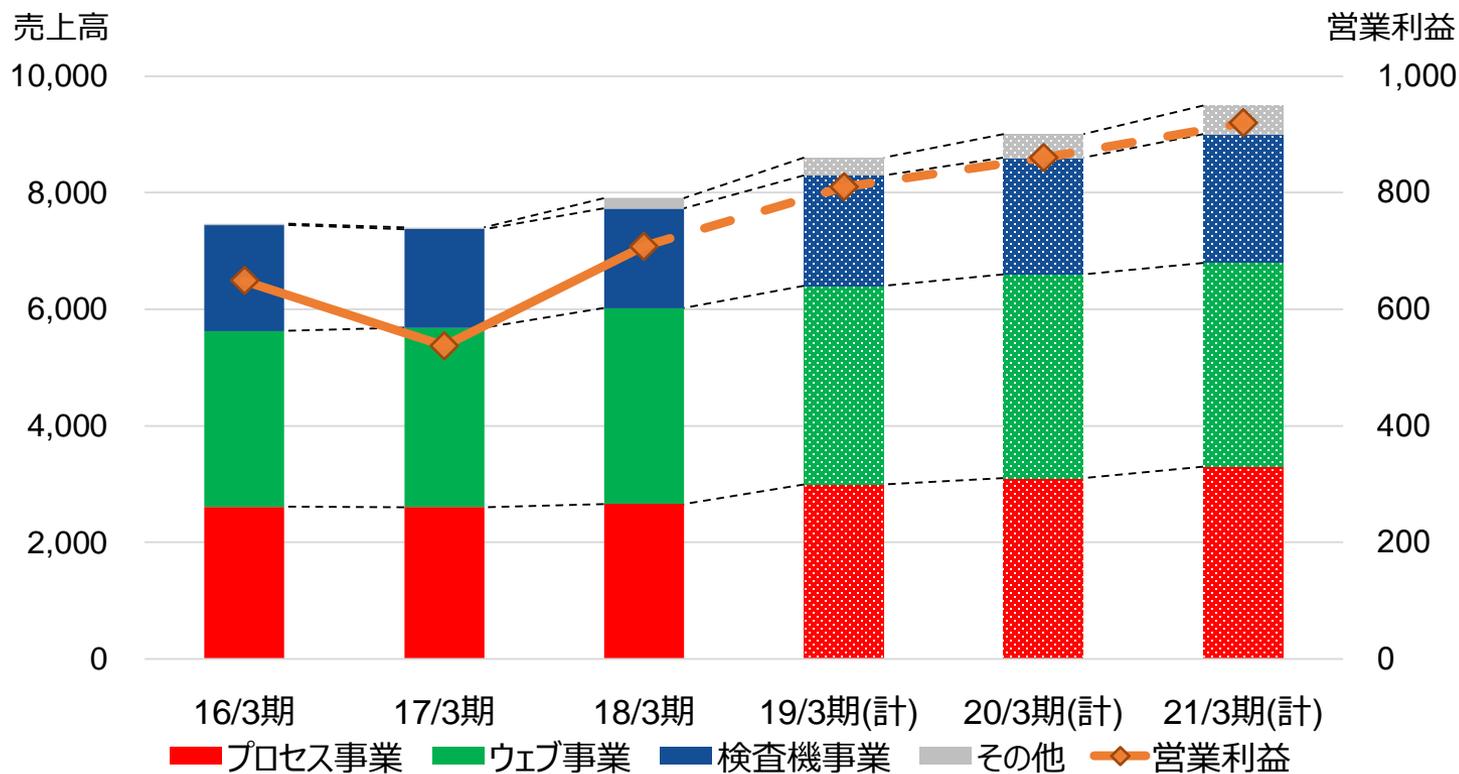
【めざす姿】

「市場の拡大」「技術の進化」「経営体質の強化」を重点テーマに置き、いかなる環境下においても成長できる体制の実現をめざす

新3カ年計画

(単位：百万円)

	19/3期(計)	20/3期(計)	21/3期(計)
売上高	8,600	9,000	9,500
営業利益	810	860	920
営業利益率(%)	9.4%	9.6%	9.7%
経常利益	860	910	970
経常利益率(%)	10.0%	10.1%	10.2%

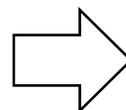


持続的成長に向けた重点テーマ

いかなる環境下においても成長できる体制の実現

市場の拡大

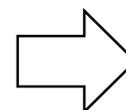
- 海外展開の推進強化
- 加工食品市場の開拓
- 新事業分野の開拓



事業基盤の拡大強化

技術の進化

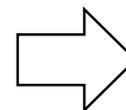
- 磁界、マイクロ波技術による製品開発
- 光学技術による製品開発
- 次世代技術に対応した検査機の開発



競争優位性の向上

経営体質の強化

- 積極的な成長投資による不足リソースの補完
- グループ連携強化によるシナジー最大化
- 競争力強化のための人的投資、並びにインフラ投資



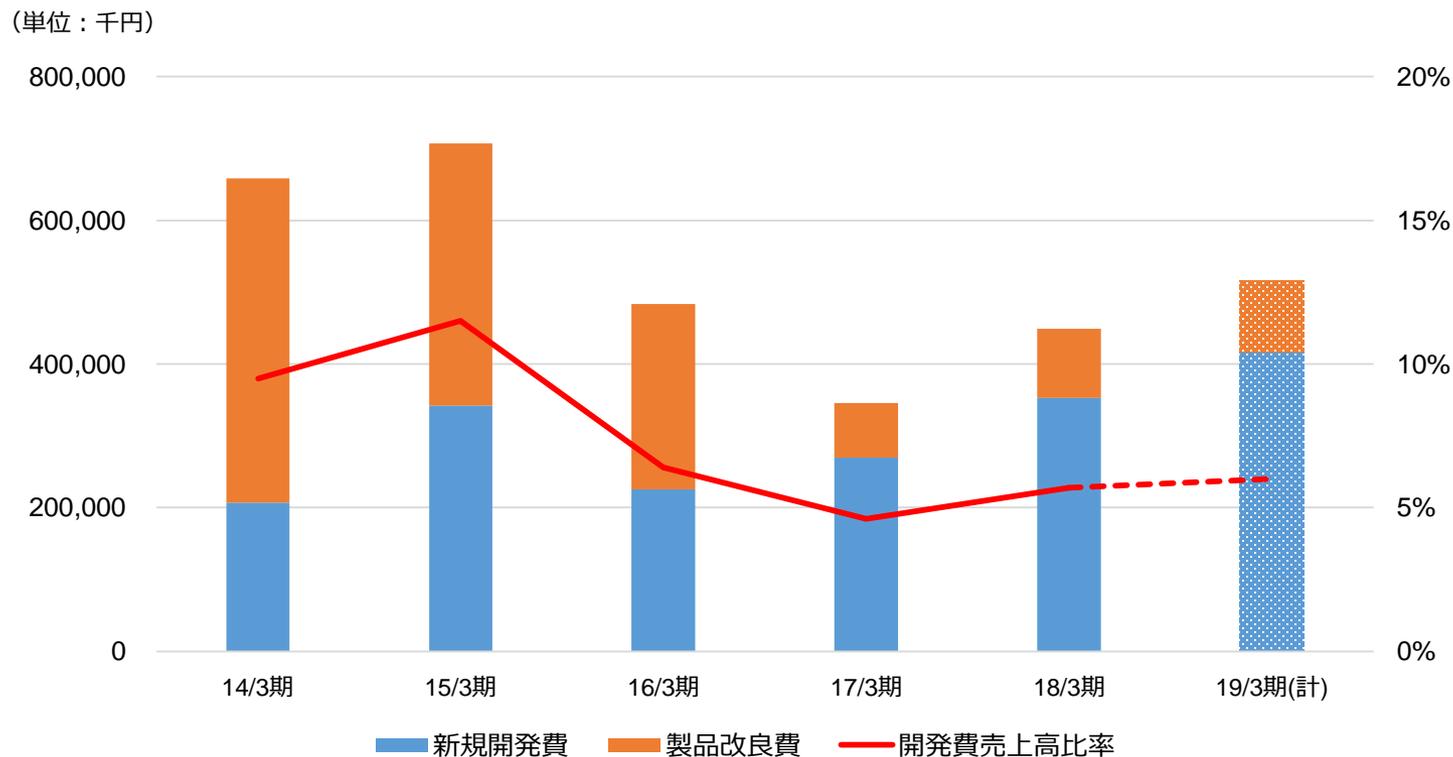
経営基盤の強化

R&D

➤ 新たな収益源の創出に向けて新規開発案件への取組み強化

主な開発テーマ

- 次世代検査機の開発
- レーザー技術による製品開発
- 磁界、マイクロ波技術による製品開発



参考資料

会社概要

会社名	株式会社ニレコ
代表取締役社長	久保田 寿治
本社所在地	東京都八王子市石川町2951-4
設立	1950（昭和25）年11月
上場市場	東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）
資本金	3,072百万円*
連結従業員数	348名*
連結売上高	7,911百万円*

* 2018年3月期連結ベース

沿革

- 1950年 : 東京都中央区に日本レギュレーター株式会社を設立
- 1979年 : 東京都八王子市に本店を移転
- 1984年 : 商号を「株式会社ニレコ」に変更
- 1989年 : 日本証券業協会に株式を店頭公開
- 1990年 : ミスミ電子株式会社（現ミヨタ精密株式会社）を子会社化
- 1998年 : 仁力克股份有限公司を子会社化（台湾）
- 2003年 : 尼利可自動控制机器（上海）有限公司を設立（中国）
- 2004年 : JASDAQ証券取引所（現東京証券取引所JASDAQ（スタンダード））に上場
- 2014年 : Nireco Process Korea Co., Ltd.を設立（韓国）
- 2017年 : 株式会社メガオプトを子会社化

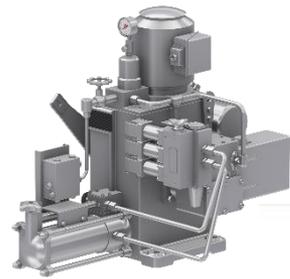
経営理念

「技術と信頼」

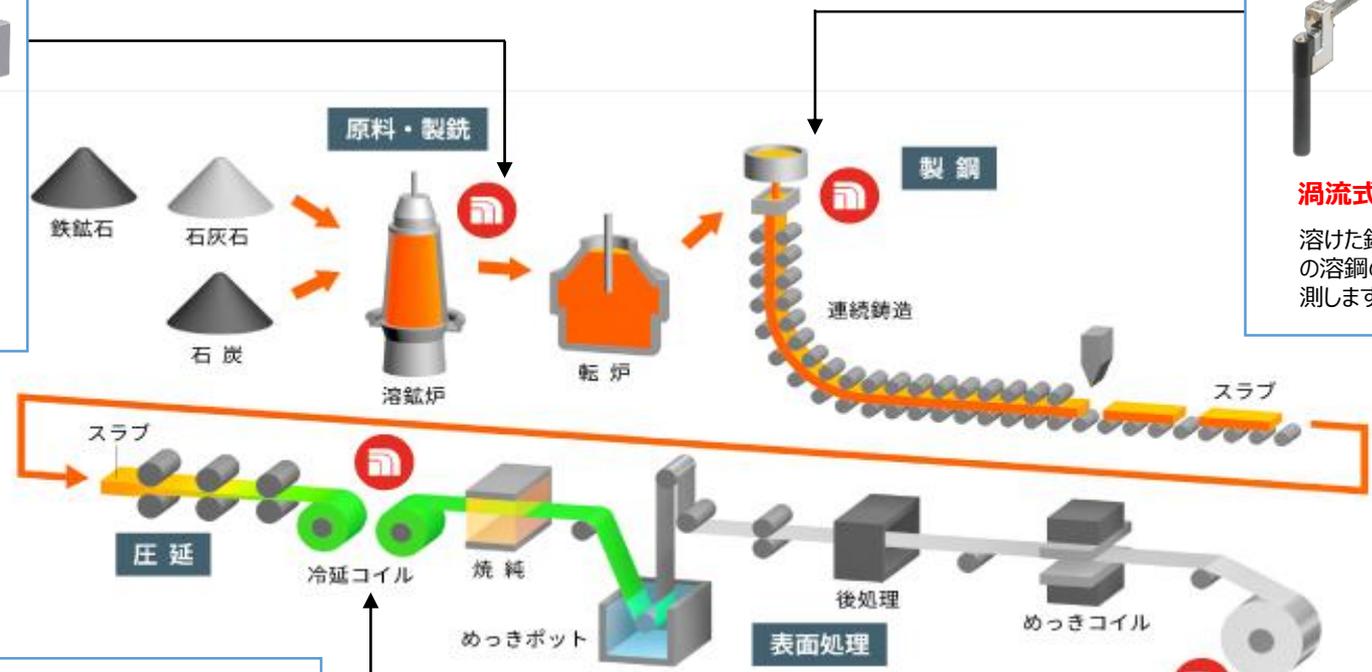
われわれは、制御、計測、検査技術を活かした製品ときめ細かいサービスの提供により、お客様から厚い信頼を獲得し、良きパートナーとして共に成長します。ひいてはパートナーシップにより生み出された価値が広く社会において喜びと感動をもたらす経営を目指します。

プロセス事業

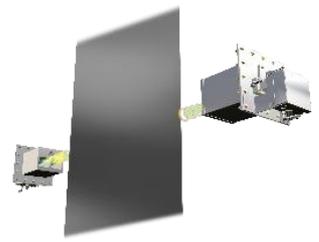
鉄鋼をはじめ、金属、ガス、化学工業などあらゆる工業における自動制御装置を扱う事業です。



プロセス制御装置
溶鉱炉内の圧力、流量、温度などの制御を行っています。



渦流式溶鋼レベル計
溶けた鋼を型に流し込む際の溶鋼の表面の位置を計測します。



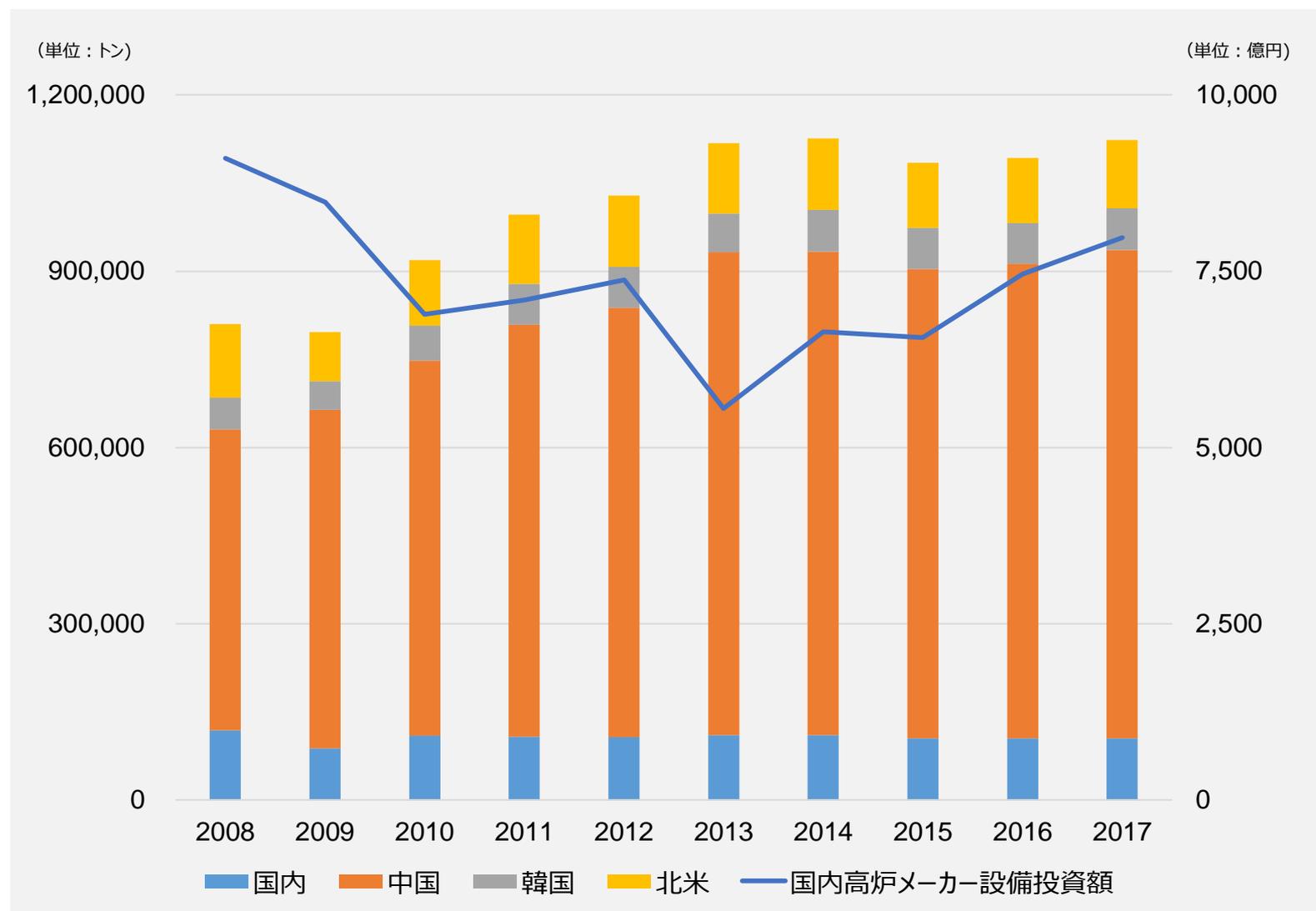
耳端位置制御装置
製造ラインを流れるスラブ（鋼材）の蛇行制御を行っています。



自動識別印字装置
できあがった金属素材に様々な情報を印字しています。

プロセス事業

地域別粗鋼生産量及び国内高炉大手設備投資額の推移



[出展：日本鉄鋼連盟]

ウェブ事業

主に紙・フィルム・箔など薄いシート状素材（=ウェブ）の位置制御装置などを扱う事業です。



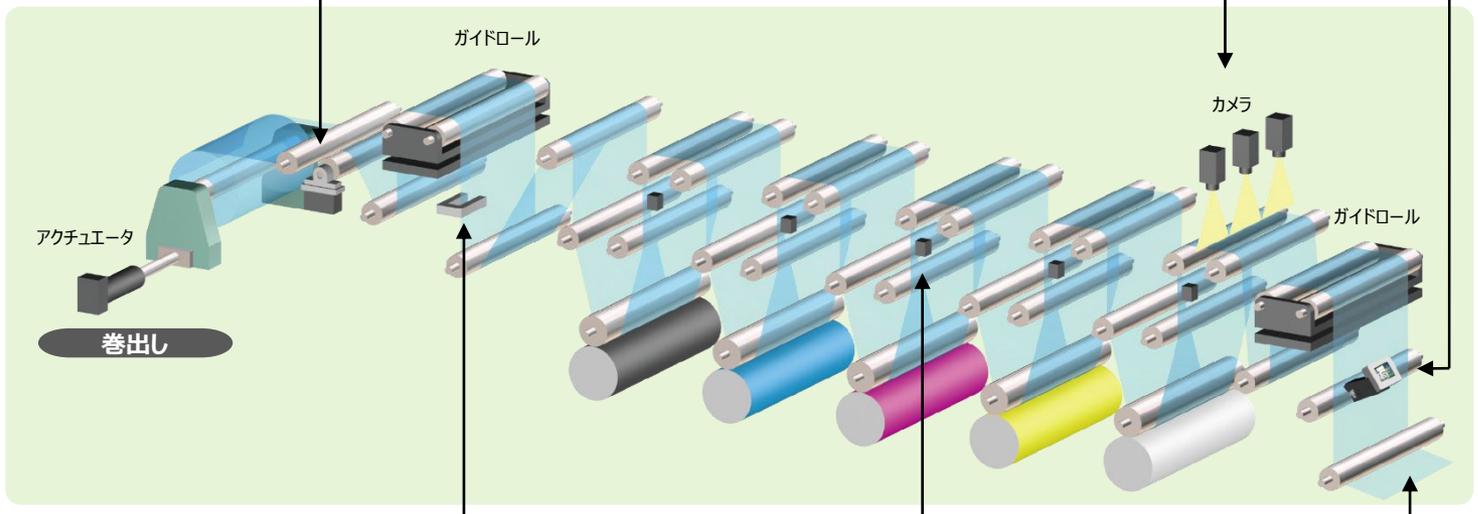
張力制御装置
ウェブの張力を一定に保ちしわ・たるみの発生を防ぎます。



印刷品質検査装置
印刷ラインの欠点を検出します。



**耳端位置制御装置
(絵柄基準)**
ウェブの規定位置を保ち蛇行を防ぎます。




**耳端位置制御装置
(エッジ・センター基準)**
ウェブの規定位置を保ち蛇行を防ぎます。



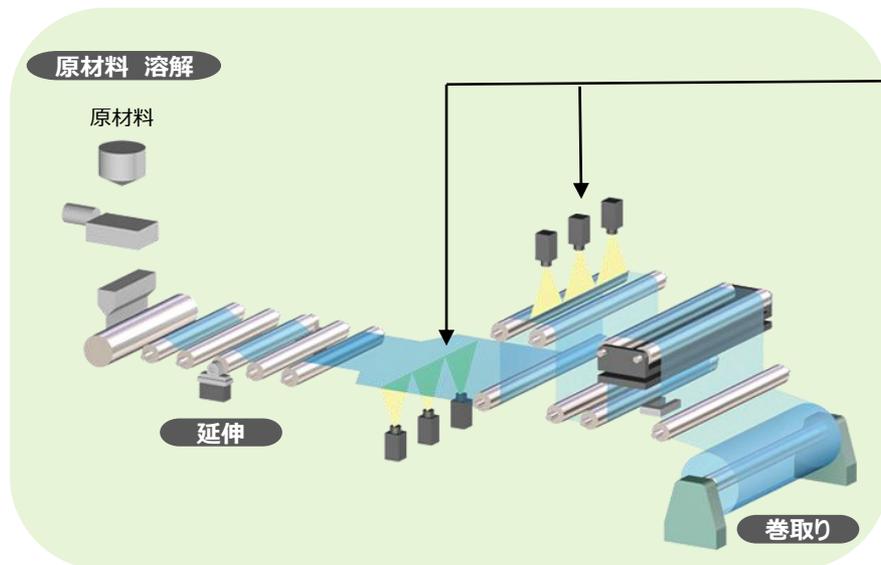
自動見当制御装置
グラビア印刷の縦横見当を自動制御します。



糊付け装置
様々な製品パターンに応じて糊付けを行います。

検査機事業

長年に渡り培ってきた画像処理技術をベースに、農産物から電子部材に至るまで幅広い製品の品質検査装置を扱う事業です。



無地検査装置

あらゆる加工現場にて高速搬送されるフィルム、紙、金属といった無地素材の表面欠陥（キズ、汚れ、異物）などを検査します。

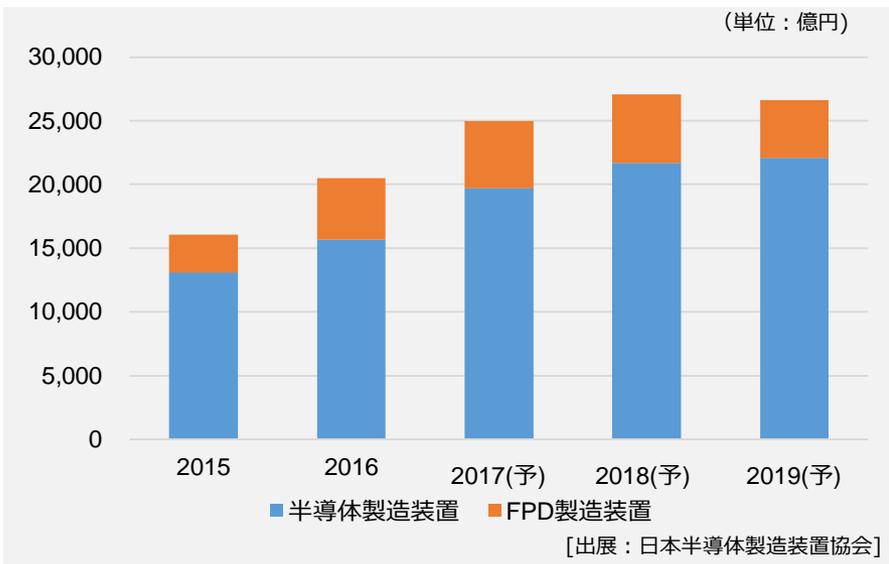
選果装置

農産物の品質を外部（キズ、腐敗、サイズなど）、あるいは内部（糖度、酸度）要因から瞬時に非破壊で判別します。

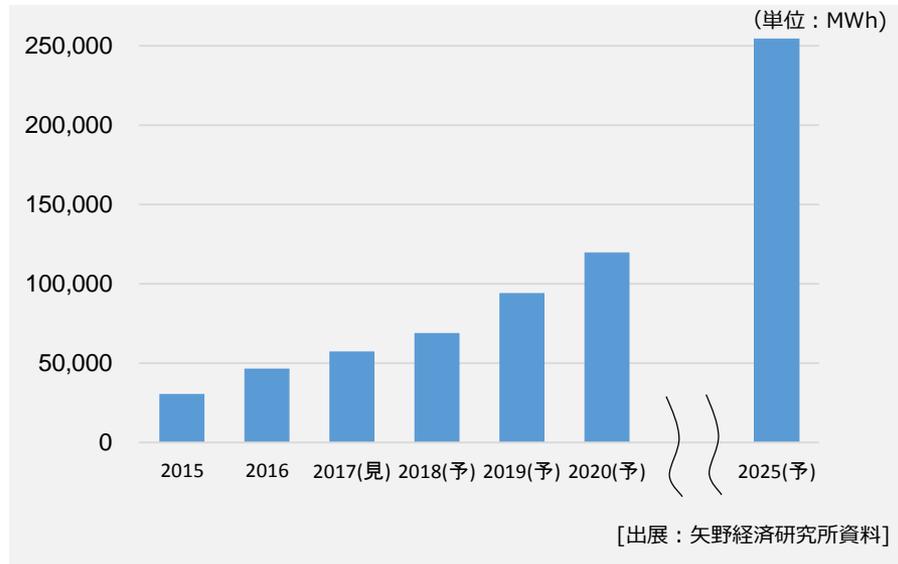


ウェブ事業 検査機事業

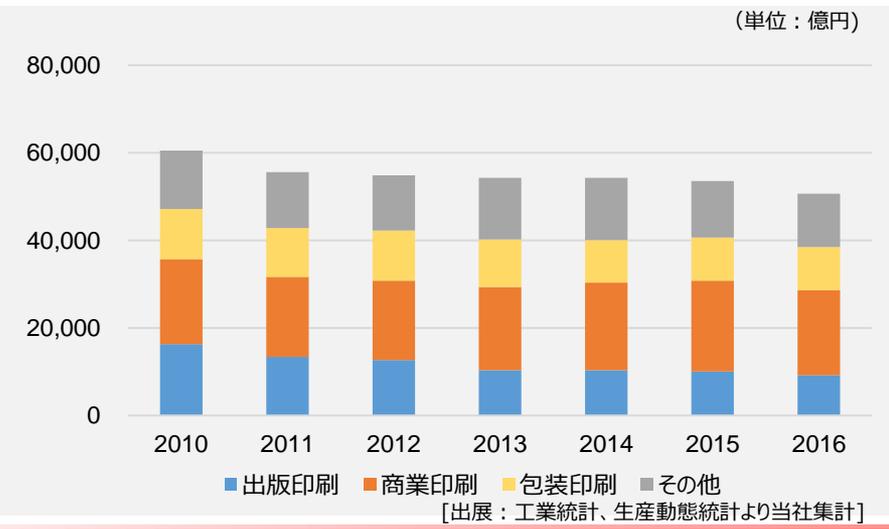
半導体・FPD製造装置需要予測 (対象セグメント：ウェブ・検査)



車載用Lib世界市場予測 (対象セグメント：ウェブ・検査)



印刷市場規模の推移 (対象セグメント：ウェブ)



食品機械国内販売額の推移(除、加工機械)(対象セグメント：検査)

